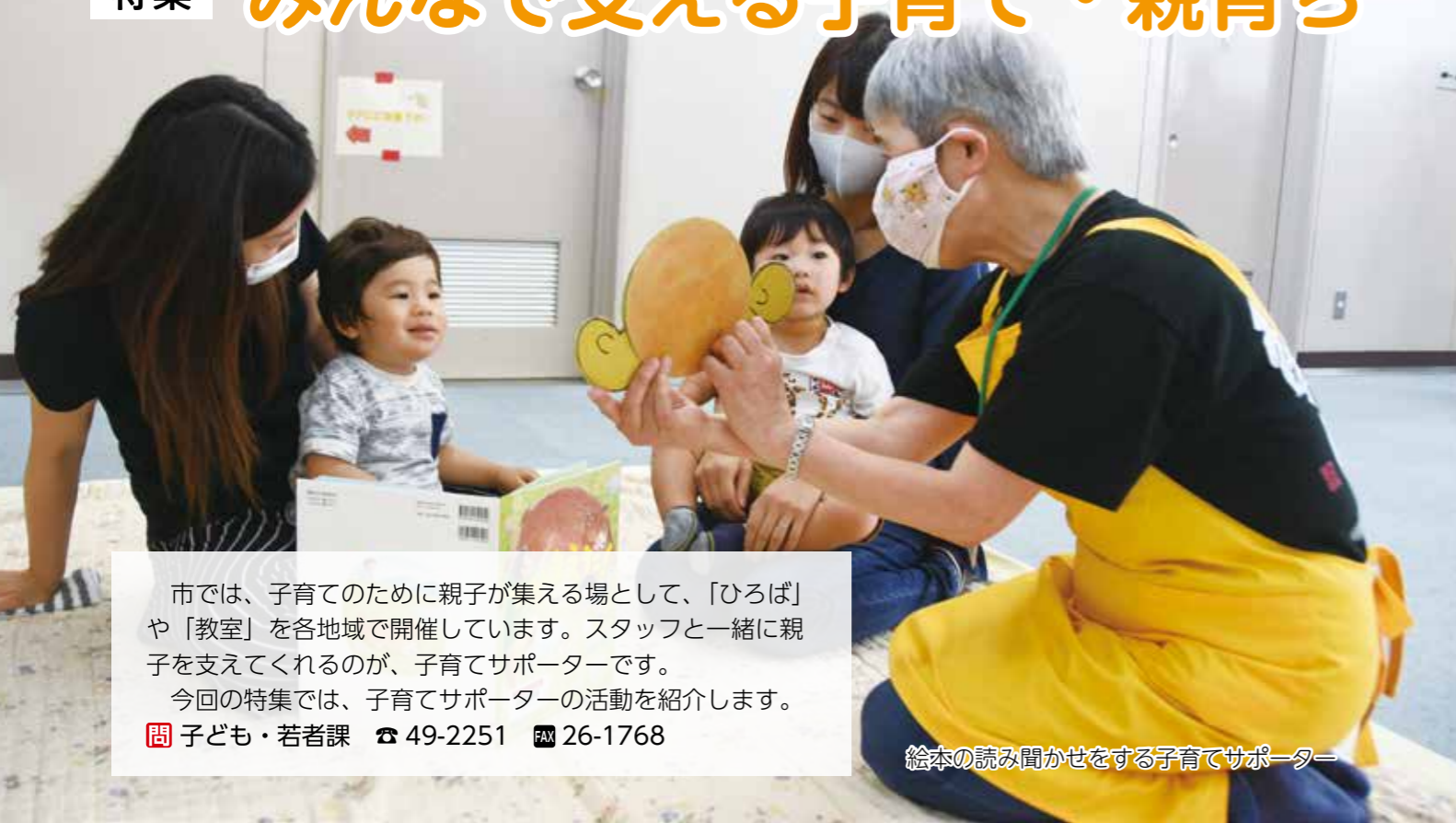


特集 みんなで支える子育て・親育ち



市では、子育てのために親子が集える場として、「ひろば」や「教室」を各地域で開催しています。スタッフと一緒に親子を支えてくれるのが、子育てサポーターです。
 今回の特集では、子育てサポーターの活動を紹介します。
 ☎ 子育て・若者課 ☎ 49-2251 FAX 26-1768

絵本の読み聞かせをする子育てサポーター

<子育てサポーターの皆さん> こんな活動をしています



一緒に風船遊び



子どもの学びをサポート



パネルシアターを開演

子育てサポーターの皆さんに、活動への思いを聞きました！



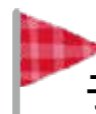
ひろばとは？

幼稚園や保育園、民生委員児童委員・主任児童委員、NPO法人、地域のボランティアなどによって開催されており、主に未就園の子どもが遊べる場です。
 子どもをおもちゃなどで遊ばせながら、親も地域の皆さんや参加者同士でおしゃべりしたり、交流したりすることができます（申込不要・無料）。



教室とは？

子育てについての話を聞いたり、子どもと一緒に遊ぶ楽しさを学んだりして、親同士が交流しながら自分らしい子育てを見つける場です。「子育て」とともに、「親育ち」を目的としています。
 （参加には事前の申し込みが必要ですが、今年度の申し込みは終了しています）



子育てサポーターとは？

「ひろば」や「教室」などで、子育て支援を行う無償のボランティアです。市では現在48人（男性5人、女性43人）が登録しています。

どうしたら
子育てサポーターになれるの？

詳しくは5ページへ！



藤井 スミ苑 さん

絵本の選書で子育て支援

2007年から始まった市のブックスタート事業（新生児と保護者が絵本の開き読みを体験する事業）に関わり、子育て支援事業のサポーターとして活動するようになりました。
 乳幼児に絵本を読みながら、無心の笑顔に出会ううちに、絵本選書が大切だと思い、丁寧に学習し、今は、読書アドバイザーとして毎月ひろばの絵本の選書をしています。
 親子が絵本を読みながらコミュニケーションする姿に、エールを送る喜びを感じています。



西永 すみ さん

本を通して親子と 楽しさを分かち合う

さくらひろばで読み聞かせをしています。10時になると「おはようございます！」と子どもたちが元気にドアを開けて部屋に入ってきます。
 おばあちゃんの手でどうぞ、という気持ちで読み聞かせを始めると、子どもたちの目がキラリと光り、中央へと集まってきます。（絵本に登場するのが「クマだよ！」と教えてくれたり、絵本の内容に反応してくれたり、子どもたちとの会話がとても楽しいです。保護者の皆さんとも本や遊びを介して会話が弾む時、「楽しさを分かち合った！」とやりがいを感じます。



水口 まさはる さん

子どもたちの 健やかな成長を願って

園児と同じ目線で時間を過ごし、見守りをしています。その中で、園児が夢や希望を持つことや、園児の心身の健やかな成長を願っています。園児は感受性豊かに、全身を使いさまざまなことに対して失敗を恐れず、工夫し、諦めずに挑戦することで、できたときの喜びや感動を全身で表現してくれるので、私自身もとても嬉しく、気持ちが盛り上がります。
 私たち子育てサポーター間での交流や情報交換の中で、新たなヒントが生まれ、日々の活動に活かしています。